



# 8・15を考える集い 学徒出陣70年 きけ、 わだつみの声



Last Friends (1995年) DVD上映会

2013年

8月18日(日) 14:00～  
(13:30開場)

横浜平和と労働会館5階

横浜市中区桜木町3-9 (JR桜木町駅より徒歩5分)

映画「きけ、わだつみの声 Last Friends」 監督：出目昌伸／脚本：早坂暁／出演：織田裕二、緒形直人、風間トオル、的場浩司、仲村トオル、鶴田真由 他／1995年／129分／日本

## ■ 今こそ戦争と平和を考えるとき

最近のニュースで、首相は自衛隊に「海兵隊的な機能を我が国が備えていく」必要があると述べました。

大変なことです。海兵隊というのは「世界一の暴れん坊」と言われる敵前上陸を専門とする強襲部隊なのです。これまで自衛隊は文字通り、専守防衛を建前としていました。つまり、攻撃された場合には国土と国民を守るために戦闘行為をとることになっていたのです。

しかし、憲法が改悪され、国防軍創設ということになれば自衛隊ではなくなります。外国に攻めていくための軍隊になるのです。1945年以来、日本の若者は一度も銃を持たされることなく平和な社会で暮らしてきました。

もしも、再び軍隊を持つことになったらどうなるのでしょうか。徴兵が行われ、強制的に軍隊に行くことになるでしょう。そして、命令があれば自分の意思にかかわらず、敵国の人間は無差別に撃つことになるのです。現在の自衛隊の仮想敵国は、「ロシア」であり、「北朝鮮」であり、「中国」です。私たちユーラシア協会の友好相手であるロシアが敵国になるのです。

この8月には、15年続いているハバロフスクへの旅行があります。毎回オケアンキャンプ場で子供たちとの交流があります。折り紙を教え、書道を教え、一緒に楽しい時間を過ごした子供たちに銃を向けることができるのでしょうか。また、子供たちもそういう日本人たちに銃を向けることができるのでしょうか。本当に悲惨なことです。私たちが暮らしていくうえで最大の悲劇と辛酸は戦争なのです。

70年前、その苦悩を味わった若者が多くいました。けれども、意に反して殺し合いの場に行かざるを得ませんでした。その姿を描いた映画「きけ、わだつみの声」の上映会を企画しました。この映画をみて考えてほしいと思います。(関戸)

会員  
無料  
(非会員 300円)

【主催】NPO法人神奈川県日本ユーラシア協会

※ 8/5～8/9 時短営業 (12時～15時)、8/10～8/17 夏休み

【参加お申し込み】

■ 8月9日(金) 15時まで Tel/Fax: 045-201-3714

E-mail: eurask2@hotmail.co.jp (神奈川県日本ユーラシア協会)

■ 8月9日(金) 15時～8月11日(日) 受付休み

■ 8月12日(月)～8月17日(土) Tel: 080-6700-5301 (関戸)

【当日連絡先】Tel: 080-6700-5301 (関戸)

